

オー!! 田植えオモシロイ

英国出身の杜氏体験

兵庫県
新温泉町

産組合の小谷正美組合長
の水田で、機械で田植え
をした後、手植えも体験
した。

ハーパーさんは「真っすぐに植えるのは難しかったが、機械は手植えよりはるかに楽。機械のありがたみがよく分かった」と話し、シルさんは「70歳になってこんな楽

しい体験ができるなんて感激。酔っぱらいが植えたような田んぼになってしまったが、農家が育ててくれれば良いお米が取れるはず」と田んぼを満足そうに眺めた。

小谷さんは「おいしい酒を造るには、職人の技術も大事だが、良質の酒造好適米を使うことも重要。兵庫北錦がどのように作られているかを知ってほしい」と話した。

【兵庫・たじま】京都府京丹後市久美浜町にある木下酒造の英国出身の杜氏（とうじ）、フィリップ・ハーパーさんとおぼのシルさんは8日、兵庫県新温泉町の水田で酒造好適米「兵庫北錦」の田植えを体験した。JAたじまが酒造好適米の取引先の同酒造から2人を招待。日本酒に魅せられて杜氏にまでなった遠来の客に、酒の原料生産の一端を感じてもらった。

2人は浜坂兵庫北錦生



稲の手植えをするハーパーさんとシルさん

大和茶

部会など

